

## ○ 卒業予定生(就職希望者)のみなさんへ

1次募集で内定を獲得した皆さん、次は卒業に向けてしっかり頑張りましょう。そして、残念ながら今回は不調に終わった皆さん、2次募集が始まっています。過去の卒業生の中にも1次募集では不採用だったものの、その後に内定を獲得した人はたくさんいます。卒業後の就職を希望する人は積極的に進路指導室を利用し、就職活動を進めてください。



### 就職活動で不調に終わった原因

#### ① 職種と適性のミスマッチ

→ 自分にできること、できないことをしっかりと自覚しましょう。

自分の事は意外によくわかっていないもの。周りの人によく相談しよう。

#### ② 積極性の不足

→ 企業研究をしっかりと行おう。

そうすることで、自分の長所をどのように企業で活かすことができるのかも見えてきますし、

逆質問(企業側からの質問)にしっかりと答えられるようになり、積極的な姿勢が伝わります。

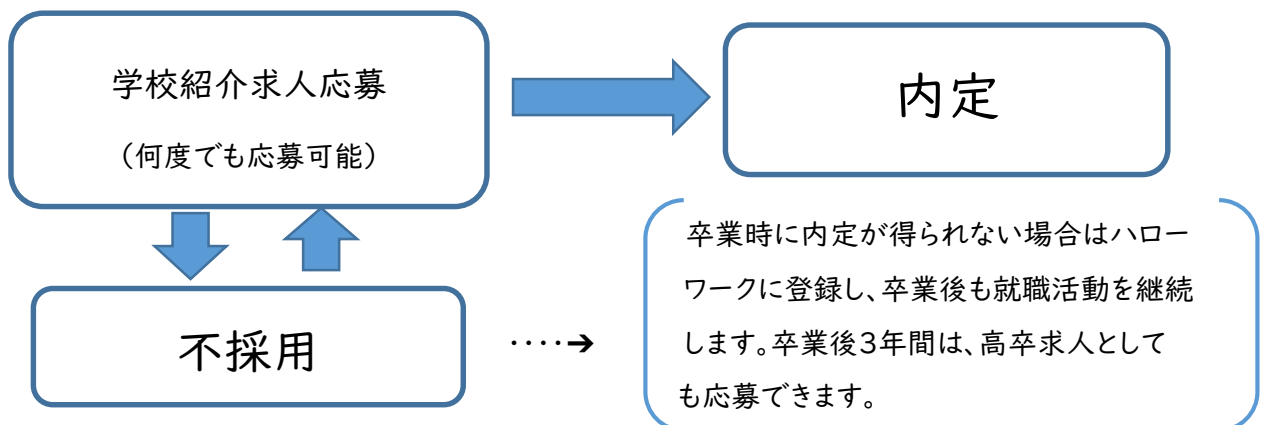
#### ③ コミュニケーション能力の不足

→ 面接の場では緊張し、なかなか本来の力が発揮しづらくなります。

進路指導部が行う面接練習だけで満足せず、担任の先生や部の先生、部活動の先生など色々な

先生にお願いして、面接練習を重ね、心に余裕を持って面接にのぞみましょう。

…今後の就職活動の流れ…



11月1日からは複数応募が可能になります。検索・相談など進路指導室を活用しよう

## ○卒業予定生（進学希望者）のみなさんへ

調査書や推薦書など学校側が作る資料を確認するためにも、

受験校が決まり次第、必ず担任の先生に伝えましょう。

## ○来年度卒業予定生のみなさんへ

来年度卒業予定生は、少しずつ卒業後のことを考え始めましょう。今から注意しておいて貰いたいことを3つのチェック項目にしたので、参考にしてください。

### <就職予定者>

- 欠席が少なく、規則正しい学校生活を送っている。

欠席の多さが不採用の理由となることも珍しくありません。

欠席日数は入学してから10日以内が理想です。

- アルバイト・インターンシップなどの就業経験がある。

アルバイトを継続しているなど、就業経験はプラスに評価されることが多いです。アルバイト経験がない人も、機会があればチャレンジしてみましょう。また、学校でインターンシップの案内をすることがありますので、そちらも利用してください。

- 自分にはどのような仕事が向いているのかを把握している。

人それぞれに得意・不得意があり、職業の向き・不向きも人によって違います。

自分自身を見つめ、どんな仕事をしたいか考えましょう

### <進学予定者>

- 欠席が少なく、規則正しい学校生活を送っている。

推薦入試での受験を希望する場合、学校によっては欠席日数の規定がある場合があります。

また、規定はなくても欠席が多い場合、面接などで問われたりもします。

- 志望校を検討している。

早めに志望校を決めるためにオープンキャンパスへ行きましょう。面接を伴う入試では、志望校についてどれだけ知識があるかが重要になります。オープンキャンパスなどで情報を集めましょう。

※もうすでに来年度卒業生向けのオープンキャンパスが始まっています。

- 自分の学力をしっかりと把握しよう。

校内や校外で模試を受験し、自分の力を正しく知りましょう。苦手分野を把握することで、今後どうすれば得点が伸びるのか、しっかりと分析しましょう。